

小松市立安宅中学校 学校だより

智 仁 勇

令和7年11月NO.6
小松市立安宅中学校
校長 山本 幸世

感動の文化祭！<可能性 安宅の華たち開花せよ>

9月上旬、運動会の練習中にすでにスタートしていた文化祭の活動。実は文化的な活動には大変長い準備期間が必要であり、完成の形のイメージも人によって違うため、集団で取り組む時には合意形成が必要になります。自ら進んで考え、意見を述べたり行動したりしなければ何も進まないけれど、そうするとたまには意見の食い違いが生じ、じっくり話し合ったり譲り合ったりすることが起こります。つまり全員が同じ目的に向かって進んでいくためには、ずいぶんな忍耐力が継続して必要なのです。合唱コンクールはまさに忍耐の連続だったかもしれません。歌うことが好きな人も苦手な人もいて、それを全部ひっくるめて最高の歌を創り上げるのは並大抵のことではないのです。歌は形が見えないからこそ難しい。けれども自然に湧いた感動はしっかり形になって心に残る。まさにそのような合唱コンクールでした。どの学年も甲乙つけがたく、審査が大変難しかったです。学年が上がるごとに、より一層美しく重なり合うハーモニー、一体感。迫ってくるような表現力。この仲間と歌えるのはこれが最後だから、最高のものにしたい。3年生の演奏からはそんな気持ちが伝わってきました。来週行われる小松市生徒音楽発表会には小松市内10校の代表が集まって演奏を披露します。安宅中学校代表として3年生全員で出場してもらいますが、堂々と、そして人生最後の合唱コンクールのまとめとして、歌い切ってきてください。

<1年生 課題曲 「Yes !!」・自由曲 1組「Believe」、2組「マイ バラード」>



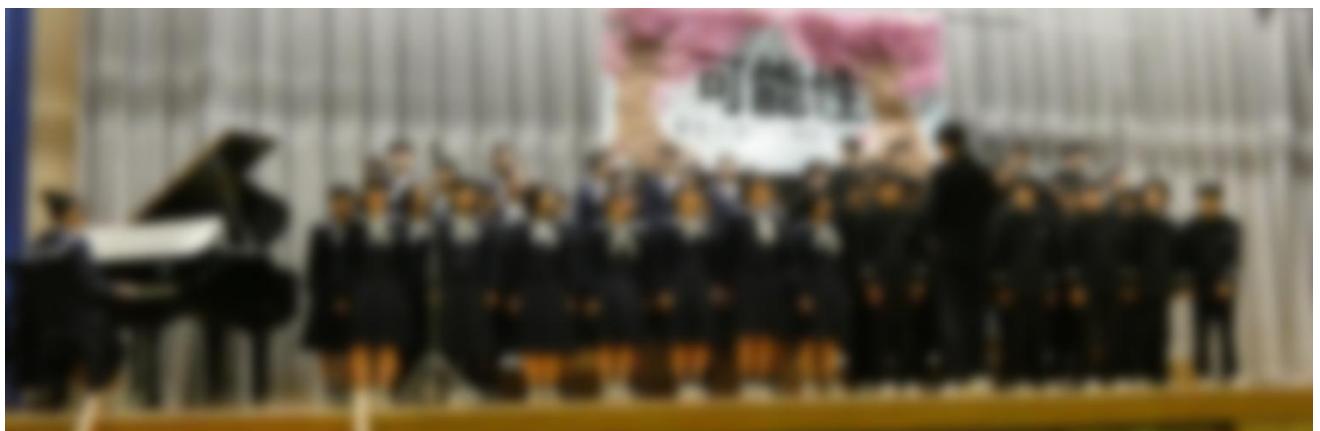
<2年生 課題曲 「翼をください」・自由曲 1組「時を越えて」、2組「瑠璃色の地球」>



<3年生 課題曲 「予感」・自由曲 1組「Replay」、2組「手紙～拝啓十五の君へ～」>



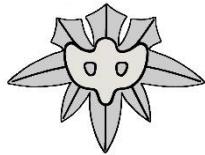
<3年生 学年合唱 「予感」>



探究を極めた学習発表！

オープニングは文化祭テーマである「可能性」に沿って、執行部が工夫を凝らしたパフォーマンスでワクワクさせてくれました。学習発表では科学研究や意見発表、各学年からは総合的な学習の時間で学んだ内容を発表しました。科学研究「ときめく実験鉱物と岩石標本」は、11月5日に行われた小松市中学校生徒研究発表会でも、1年生ながら安宅中学校代表として発表してくれました。また意見発表「今日の選択、未来の選択」は、8月に行われた加賀地区意見発表会において安宅中学校代表として発表してきてくれたものです。みなさんはそれぞれの報告や意見を聞いて、どのように感じましたか？





全員で盛り上がろう！「催し物」そして吹奏楽ステージ

安宅中学校文化祭の午後は、会場内の人を楽しませるエンターテイメントが準備されています。English Table では英語による世界のイベントに関するクイズ。Activity は全校生徒が熱狂して盛り上がるゲーム。とても手の込んだ動画を作成して、まるでプロの番組のようでした。そして厳しいオーディションを勝ち抜いたステージ発表。途中音響の不具合で待機時間が長くなりましたが、騒ぐことなく落ち着いて復旧を待ってくれている様子に感心しました。文化祭の最後を締めるのは吹奏楽部のステージ。曲に合わせてジブリのキャラクターが登場し、思わず目を奪われましたね。

この文化祭を成功させるために、全校生徒が一人一役、人によっては何役も担って取り組んできました。これは特別なこと？いいえ、毎日の学校生活でも、みなさんはクラスや学年、学校のためにそれぞれ自分の役割を果たしています。いいクラス、いい学年、いい学校は誰かが作ってくれるのではなくて、一人一人が心がけることからできるのですから。またさらに、安宅の華であるみなさんが才能を開花し、安宅中学校を進化させてくれました。目に見えない大切なものを、みんなで創り上げ、感じることができた一日でしたね。



ご来賓の皆様、そして保護者の皆様、たくさんのご来場を頂き、ありがとうございました。

宮橋市長のオープンダイアローグ！

代休明けの11月5日（水）には、小松市長の宮橋勝栄氏が来校され、「市長のオープンダイアローグ」が行われました。玄関に入られて最初におっしゃったのは、「（古い校舎なのに）綺麗にしていますね」という言葉でした。みなさんが暑い日も寒い日も水拭き主体の清掃を黙々としているおかげです。入ってすぐに気づかれ、褒めていただきとても嬉しかったです。

今年は1年生を対象に、小松市が掲げる2040ビジョンについて熱く語られました。2040年は小松市が誕生して100周年となる年。その時1年生のみなさんは28歳になっています。市長のイメージしている2040年の小松市で、みなさんはどのように輝いているでしょうか。講話の後には質問や意見を発表しました。中学生ならではの視点から考えたことや思ったこと、要望を直接お伝えし、一つ一つ丁寧に考えを聞かせてもらえたことも、とても貴重な経験となりました。



小松市生徒研究発表会＆音楽発表会

小松市には全10校の代表が集まる学びの場があります。11月5日（水）の午前には、小松市中学校生徒研究発表会、10日（月）には生徒音楽発表会が開かれました。研究発表会では、夏休みの課題研究について、1年生ながら堂々と発表してくれました。

音楽発表会では各校合唱コンクールを勝ち抜いた最優秀クラスまたは学年が一堂に会し、演奏を披露します。10校の発表の最後を務めた本校3年生は、文化祭での演奏をはるかに超えた素晴らしい歌声を披露してくれました。美しい発声と重なり合うハーモニー、そこから生まれる一体感。これぞ最上級生、まさに会を締めくくるにふさわしい、見事な演奏でした。形がないからこそ感動は心に残るものです。3年生の皆さん、ありがとう！

